

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日1月30日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、2月6日（火曜日）からです。

『未完の西郷隆盛』

先崎 彰容／著、新潮社／刊、請求記号：289.1/Sa,18

内容：自らが理想とする「国のかたち」を西郷に投影し、第二の維新によるもうひとつの日本の実現を求めてきた日本人。福澤諭吉から江藤淳まで、西郷を論じ続けてきた思想家たちの150年から、改めて「日本のかたち」を問い直す。

著者紹介：1975年東京都生まれ。東北大学大学院博士課程修了。日本大学危機管理学部教授。専門は日本思想史。著書に「ナショナリズムの復権」「違和感の正体」など。

『死者と先祖の話』

山折 哲雄／著、KADOKAWA／刊、請求記号：385.7/Y,42

内容：日本人は死をどのように受け止め、死者を供養してきたのか。折口信夫「死者の書」と柳田国男「先祖の話」を導きに、鎮魂・供養・往生・看取り等から、日本古来の信仰や死生観を見つめ直す。

著者紹介：1931年生まれ。東北大学文学部印度哲学科卒業。宗教学者。国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター教授、同センター所長などを歴任。「愛欲の精神史」で和辻哲郎文化賞受賞。

『数学史のすすめ』

高瀬 正仁／著、日本評論社／刊、請求記号：410.2/Ta,53

内容：岡潔、ガウス、アーベル、オイラー…。「数学を創造した人」の声に耳を傾け、直接言葉を交わし、問いかけに答えてきた著者が書き綴った、数論、微積分、多変数関数論の形成史。

著者紹介：1951年群馬県生まれ。九州大学基幹教育院教授を経て、数学者・数学史家。著書に「リーマンと代数関数論」など。

『「ななつ星」「四季島」「瑞風」ぜんぶ乗ってきた！』

中嶋 茂夫／著、河出書房新社／刊、請求記号：686.2/N,34

内容：一生に一度は乗ってみたい！車内、料理、絶景車窓、クルーのおもてなしなど、実際に乗ったからこそわかる、日本3大豪華寝台列車「ななつ星」「四季島」「瑞風」の魅力を紹介する。

著者紹介：1967年大阪生まれ。鉄道ジャーナリスト。著書に「山手線と東海道新幹線では、どちらが儲かっているのか？」など。

『15歳』

梅崎 司／著、東邦出版／刊、請求記号：783.4/U,73

内容：サッカーを否定し続け、母に暴力をふるい続けた父。いつも同じ目線に立ち、大きな愛情を注いでくれた母。15歳のとき、「サッカーで成功して、自分が一家の大黒柱になる」と決心したJリーガーが、これまでの半生を綴る。

著者紹介：1987年生まれ。長崎県出身。浦和レッドダイヤモンズ所属のMF。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp